

卒業おめでとう。晴れて卒業の日を迎えた皆さんに、心からお祝いの言葉を贈ります。

皆さんが入学した2013年は、日本のスマートフォン普及率が6割を超え、1月にはLINEの利用者が世界で1億人を突破したという年でした。

自分の頭で考え 意志をもって進め

皆さんは大学生活の4年間、諸刃の剣であるこれらのITツールを、上手に使いこなしてくれたでしょうか。

さて昨今のニュースでは、数か月前には予想もできなかったような出来事が連日伝えられています。数々の大統領令、それに翻弄される人々の姿は、

「不確実性の時代」に突入したという世界中の人々の不安を増幅させています。今後、皆さんが船出する日本の社会はどうなっていくのでしょうか。

AIの進化とロボット技術の普及で、今ある多くの仕事が近い将来無くなると予想されています。また、急速



学長 成田 健一

に進む高齢化は、皆さんたち若い世代に大きな負担としてのしかかってくるとも言われています。そんな暗い未来予測が蔓延する時代ですが、私は決して悲観的には思いません。

社会の変化は、必ず新しい技術のニーズを生みます。これから高齢化

社会も、今のように社会保障制度に全面的に頼るのではなく、一人ひとりが自分のできることで地域のお年寄りをサポートしていく、多職種連携による地域包括ケアシステムという、明るい社会の選択も可能なのです。そこには、支援のための様々な技術開発も必要となり、皆さんの活躍の場も広がっているはずです。

未来の社会の有り様は我々の意志の集合です。どういう社会を創りたいのか、そういう意志を持たなければ何も始まりません。時代に流されない意志、それは自分の頭で考えないと決して得られません。

「悲観主義は気分によるものであり、楽観主義は意志によるものである」これはアランの『幸福論』の最後のプロポにある言葉です。皆さんが、自らの頭で考え、強い意志を持って、すばらしい日本の未来づくりに貢献してくれることを、心から願っています。